



JTUC-TOKUSHIMA 連合徳島

vol. 244

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088 (655) 4105
fax. 088 (655) 4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

発行: 日本労働組合総連合会徳島県連合会
編集責任者 森本佳広

当面の日程

- ◎ 4月4日(金)
 - ・第85回徳島中央メーデー実行委員会(連合徳島会議室)
 - ・2014春闘第2次キャンペーン(徳島駅前)
- ◎ 4月7日(月)
 - ・中小春闘勝利、未解決組合支援総決起集会(ふれあい健康館)
- ◎ 4月14日(月)
 - ・ドム事件第8回公判(徳島地方裁判所)



写真左から労働局要請、県要請、経営4団体要請

2014春闘
政策・制度要求

県内3団体に要請書提出

連合徳島と春闘県共闘会議は、3月5日から6日の2日間、経営団体、労働局、県の3団体と2014春闘にかかわる政策・制度要求の要請行動(交渉)を行い、要請書を提出。雇用対策や労働環境の改善、賃金改定では月例賃金の引き上げ等を訴えた。

経営団体 要請行動

要請行動は3月5日に経営団体、6日に労働局、県と行い、連合徳島執行部が参加した。

月例賃金の引き上げを要求

経営団体との要請行動で河村議長は「今春闘はこれまでと大きく違い、経済の好循環実現に向けた政労使協議が開催され、デフレからの脱却、経済の好循環を形成するための賃金上昇等について共有化が図られている点にある。しかし非正規労働者の増加は進むとともに、1100万人近くが年収200万以下のワーキングプアと呼ばれる状態におかれている。これら傷んだ雇用と賃金、労働条件を是正せず、格差の拡大や貧困の問題を放置すれば、社会の不安定化と劣化は一層進み社会は混乱していく。これらを打開していくためには、全ての働く者の所得向上を実現することが重要である。とりわけ経済の好循環の起点となる月例賃金の引き上げが極めて重要だ」と訴えた。政府内で検討されている労働分野における規制緩和(労働者保護ルールの改悪)について「社



寒風吹く中、各構成組織から1,000人が結集

2014春闘勝利 総決起集会

格差是正、賃上げめざし

春闘勝利に向けデモ行進

連合徳島(県春闘共闘会議)は、3月7日藍場浜公園で、2014春季生活闘争勝利徳島県総決起集会を冒頭、主催者を代表し、河村会長は「第一先行組合

開催し、各構成組織から約1000人が参加した。開催し、各構成組織から約1000人が参加した。冒頭、主催者を代表し、河村会長は「第一先行組合

は、3月12日の春闘回答引き出しに向け、精力的に労使交渉を展開している。マスコミ等で、政府の賃上げ要請を大々的に報じているが、真に問われているのは、非正規や中小企業で働く者全体の暮らしの底上げである。2014春闘は、連合の社会に対する役割の真価が問われる闘いとなる」とあいさつ。

大限支援し、引き続き中小地場の闘争へと繋げていこう」と檄をとばし、今後の具体的な取り組み(戦術)については、①賃金カーブ維持分確保と賃金還元・格差是正、②非正規労働者の労働条件改善、③ワークライフバランス実現等を挙げ、中小・地場の取り組みでは、地域ミニマム運動課題と職場組合員の声を中心に要求し、労使交渉を実施すること等を提起した。

会的セーフティネットの機能不全など危機を克服するには人への投資が急務であり、到底受け入れることはできない」と主張した。これに対し経営側は賃金引き上げ(一時金)については理解を示したものの、月例賃金の引き上げについては難色を示した。また、労働者の賃金(設計労務単価)引き上げには公契約条例の制定が重要であると労使の意見が一致した。

労働局、県の要請行動については、雇用のセーフティネットへ向けた地域雇用対策の強化、公正なワー

クルールの確立、労働環境・条件の改善、ワークライフ

バランスを軸に要請し意見交換を行った。

連合徳島の活動アピール

—2014Syuntoふれあいファミリーデー—



組合員や家族など6千人が参加

れあいファミリーデーを開き、小春日和のなか、連合徳島組合員や家族など約6千人が参加した。ファミリーデーはキャラクターショー(仮面ライダーガイム)効果もあつてか、会場はあふれんばかりの観衆で埋め尽くされ、子どもたちの歓声が響き渡った。

また会場では、連合徳島の取り組みに関する活動内容の説明を行うとともに、連合本部が作成したDVDも上映し、「働くことを軸とする安心社会」の実現をアピールした。

なお、会場には、労働生活相談ブースも設けられるとともに、東日本大震災復興支援として、岩手・宮城・福島の特産品を取り寄せて販売した。女性委員会・青年員会は綿菓子やドリンクも販売し、多くの参加者が賑わった。



方針を熱心に聞き入る組員

第35回部落解放徳島地方共闘会議定期総会が3月20日、阿波観光ホテルで開催され、各構成組織・団体が

部落解放徳島地方共闘会議定期総会

狭山再審闘争を柱に

人権啓発など取り組み確認

ら代議員57人（委任状4人）が参加した。総会は、橋本副議長の開会あいさつで始まり、議長に天羽代議員（JAM光洋シーリングテクノ労組）を選出後、共闘会議を代表して河村議長は「狭山事件発生から50年が経過した。これまで16回にわたる三者協議が開かれ、135点あまりの証拠開示が行われたが、検察は殺害現場を特定するための、重要な捜査書類については、未だ、不見当と

回答し納得できる説明もしていない。直近では犯行に使われた手拭いが石川さん宅のものではないこと、手拭い捜査報告書の配布先一覧には、石川さん宅の配布数を示す数字の「1」が「2」に見えるように書き加えられていること、発見・押収された万年筆のインクはブルーブラックで、被害者が普段使っていたインクがライトブルーであることなど、数多くの矛盾点が明らかになっている。い

ずれにしてもこの三者協議はさらなる証拠開示、事実調べ実現へのチャンスであり、今が再審実現への正念場であるとの認識のもと、さらなる世論喚起と取り組みを展開していこう」とあいさつ。

続いて、松岡事務局長から1年間の活動報告・決算報告、関口会計監査から監査報告が行われた後、当面する取り組みとして、部落問題・人権問題についての学習・教宣活動の推進、人



各構成組織・団体から57人が参加

権教育・啓発推進法を活用した取り組みや、人権政策確立、就職・雇用における差別撤廃と公正なワークルールの確立、狭山第三次再審闘争等を柱とした活動方針、予算が提案され、全体の拍手で承認された。

また、役員改選では新議長に連合徳島の吉野副会長、幹事に國見執行委員長が就任した。最後に、富永副議長の閉会あいさつ、河村議長の団結がんばろう三唱で総会を閉じた。

続いて、U Aゼンセン、自治労、農協労連から春闘情勢と取り組み報告が行われ全体で共有化。最後に小畑委員長の団結がんばろうで学習研修会を終了した。



12構成組織・35人の青年が結集



女性と社会保障などをテーマに学習

国際女性デー

連合徳島女性委員会が行動参加

国際女性デーは1857年3月8日、ニューヨークの被服工場で働く女性たちが低賃金・長時間労働に抗議を行ったことが起源で3月8日を「女性の団結・共同行動・献身により女性たちが平等と尊敬を得られることを目覚める日」として、世界的に女性の権利をめざし

た行動が展開されている。徳島においても3月8日に記念集会在開催され、連合徳島女性委員会や各団体から80人が参加した。集会冒頭、徳島駅前各団体のリレートークが行われ、連合徳島女性委員会から小川副委員長が演説し、女性の地位向上を訴えた。リレ

ートーク終了後、徳島駅からホテル千秋閣までデモ行進を行った後、記念講演が行われ、連合本部の南部副事務局長が、「今こそ女性の力を引き出そう」、花井総合政策局長からは、「女性と社会保障」をテーマに講演が行われた。

間賃金格差のデータを紹介した上で、本年7月1日施行の雇用機会均等法について、花井総合政策局長は、日



連合徳島女性委員会などから80人が参加

青年委員会

春闘をテーマに学習 情勢の共有化を図る

連合徳島青年委員会は、3月15日ホテル千秋閣で春季学習研修会を開催し、12構成組織35人が参加した。冒頭、小畑委員長が「県内企業はこれから本格的に春闘に突入していく。私たち青年層の生活基盤を立て直すには、賃金を始めとした労働条件の向上が欠かせない」とあいさつ。

学習会では森本事務局長が「2014春季生活闘争の方針と課題」をテーマに講演を行い、最初に、連合・古賀会長「労働者保護ルール改悪阻止、デフレ脱却にどう挑む」ロンゲインタビューDVDを放映。森本事務局長は「非正規労働者が増えると社会保障システムを支える人が少なくなる。フィラデルフィア宣言では①労働は商品ではない、②一部の貧困は全体の繁栄にとって危険であると謳っている。いざれにしても、ディーセントワークの実現と労働者保護ルールの改悪を阻止し、デフレ脱却、経

本は諸外国に例を見ないスピードで高齢化が進行していることに触れ、連合として年金制度や子ども・子育て支援など、持続可能な社会保障制度確立に向け、政策・制度要求はもとより様々なキャンペーン活動を展開していきたいと述べた。